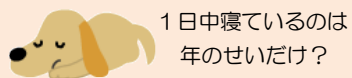


Information_8

甲状腺のおはなし

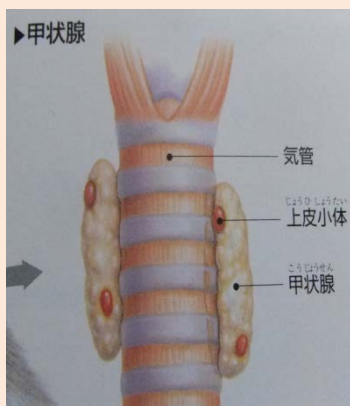
なんとなく元気が無い、反応が鈍くなった、いくらダイエットしてもなかなか痩せない、毛艶が悪くパサついてきた・・・このような変化を年のせいだと思ってそのままにしてはいませんか？



甲状腺とは

のどあたり、気管の左右に張り付くように存在する臓器です。

ここから分泌される「甲状腺ホルモン」は代謝の過程を刺激・促進します。熱産生や組織代謝に関わる、生命活動に無くてはならない重要なホルモンです。



この「甲状腺ホルモン」が多すぎたり、逆に足りなくなったりすると、体に様々な不調が現れてきます。

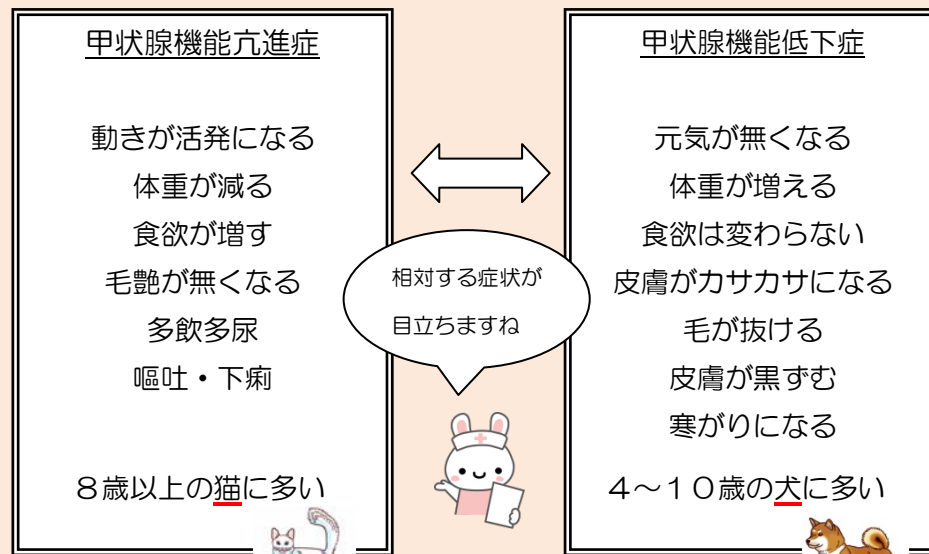
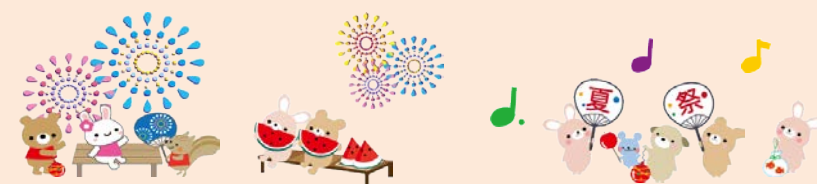
バランスが重要

甲状腺組織の過形成や腫瘍化によって、甲状腺ホルモンが過剰に分泌される病気を「甲状腺機能亢進症」といいます。

反対に、甲状腺組織の破壊、萎縮、腫瘍化などによって甲状腺ホルモンの分泌が低下する病気を「甲状腺機能低下症」といいます。

どちらも進行すると深刻な影響を及ぼします

症状



早期発見がカギ

この病気は予防できるものではないので、異常に早く気付いてあげることが健康を取り戻すカギです。

血液検査で病気が分かったら、ホルモン量をコントロールする薬を投薬します。この薬は、基本的に生涯飲み続ける必要があります。

スタッフより

甲状腺の病気は、あまりよく知られていませんが、わりとよく有る病気です。放っておくと衰弱するばかりですが、ホルモン量をうまくコントロールすることで、本来の生き生きとした姿を取り戻すことができます。

“いつも一緒”だからこそ“いつもと違う”という小さな変化に気付いてあげてくださいね

